

ロジャー・フォン・イーク

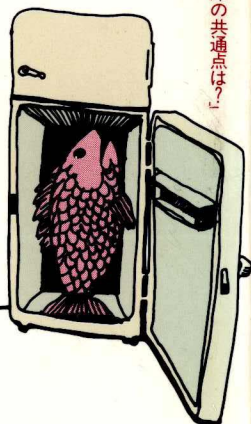
頭にガツンと 一撃

城山三郎 訳

「／＼／＼／」



「えーと、どちらにもしつぽがある、
どちらもおなかに魚を入れる」



「猫と冷蔵庫の共通点は？」

Roger von Oech

A Whack On The Side

頭にガツンと一撃

ロジャー・フォン・イーク

A Whack
On The Side Of The Head

城山三郎^訳

新潮社



A Whack on the side of the head

Copyright ©1984 by Roger von Oech

Japanese translation rights arranged with Warner Books, Inc., New York
through Japan UNI Agency, Inc.

頭にガツンと一撃

ロジャー・フォン・イーク著

しろやまきおろう
城山三郎訳

印刷 1984.4.10 発行 1984.4.15

発行者 佐藤亮一

発行所 新潮社 郵便番号162/東京都新宿区矢来町71/振替東京4-808

電話：業務部 (03) 266-5111

編集部 (03) 266-5411

定価 1300円

印刷所 二光印刷株式会社

製本所 大口製本株式会社

©1984 Saburō Shiroyama, Printed in Japan

乱丁・落丁本は、御面倒ですが小社通信係宛御送付

下さい。送料小社負担にてお取替えいたします。

ISBN4-10-516701-4 C0000

●読者諸氏に訳者より一言●

本書の四つの効用

城山三郎

職業柄、つとめて柔軟な思考をと心がけてきたつもりであったが、本書を読んで、まさに「ガツンと一撃」（本書原題の直訳）をくらう思いがした。

なるほど、こんなに頭がこわばっていたのか、思考を締めつけられていたのかというぞっとする思いとともに、これからの人生、こうした本をときどき読み返して自己点検する必要がある、と思った。

この本の生い立ちは、ユニークである。

文字どおり時代の先端に行く先端技術産業などの管理職研修に使われていたテキストが起源である。

著者の主宰するその研修セミナーは、たいへんな評判で、せめてそのテキストなりともという要望が多く、これに補筆して自家版の形で出したところ、それがまた奪い合いになった。

たしかに本書には、しぜんと人に伝えなくなったり、人を試してみたくなくなるような話が溢れている。

話題は話題を呼び、広く市販されることになる、たちまち米国読書界でのベス

ト・セラーになった。

著者は本文末尾にも顔を出すように、まだ若いだけでなく、いまでも頭脳開発に明け暮れている。

それだけに、本書には、経済最前線のはりつめた空気が漂い、一種の臨場感がある。そこで研修している先端産業のエクゼクティブたちの顔つきが目の前に浮かび、息吹きが伝わってくる。海を渡らずして、その参加者になれる。

言い放し書き放しのものでないだけに、論じ方は奔放だが、試すべきところは試し、念を押すべきところは押す。責任を持つて頭のこわばりをほぐそうという著者のプロ意識のあらわれでもある。

本書の第二の特徴は、ただの実務書などではなく、人生そのものへの皮肉な考察を含んでいる点である。ビジネスマン以外の人々にも、立ち止まらせ、腕組みして考えさせるものがある。

事実、いきのいい著者の掛声に応じて、ギリシヤの先哲から現代アメリカのリーダーまで、各界各層の人々がそれぞれの格言や知恵を抱えて、本書に顔を見せている。

第三の特徴は、何よりもたのしい本であるということ。久しぶりに童心に帰るたのしさがある。

謎ときや笑いの連続で、なるほどと思い、してやられたと苦笑し、そうしているう

ち、こわばった頭がほぐされて行く。

その結果、がらくたも貴重品もいっしょにつめこまれて、手のつけようもなかった倉庫の中が、にわかにかたづけられて風通しがよくなり、必要な品が気軽にとり出せる。

あるいはまた、眠っていた資源に脚光が当り、ふいに小さな産油国の国王にでもなつたような豊かな気分になさてくれる。そして、元氣と自信を与えてくれる。第四の特徴というか、効用である。

内容的には、異種交配のすすめがあり、SF的世界への誘いがあり、水平思考や逆転思考のすすめもある。それらのエッセンスがごった煮されて、相乗効果というか、総合効果を發揮している。

これからは、アイデアとフィーリングの時代だ、といわれる。

そのことは、技術で伸びてきた先端技術産業においても、例外ではない。いや、その技術をこれ以上伸ばすためにも、新しいアイデアとフィーリングが必要とされる。

その強い必要性をひたひたと足もとに感じながら、しばしシャワーに小気味よく頭から打たれ続けるのも、わるくはない。

頭にガツンと一撃●

—— 目次

●序論 頭のこわばりをほぐす 13

思考のセックス 創造的思考とは何か？ 頭のこわばり 頭と心のこわばりをほぐす ガツンとやられる

●第1章 物事の正解は一つだけではない 31

思考の訓練 チョークの点 スーフィ教派の裁判官 結果 二つ目の正解

●第2章 何も論理的でなくてもいい 43

やわらかい思考とかたい思考 創造過程 それは論理的ではない 精神のコンピューター・モデル ロジャー好みのやわらかい思考の手段 金の流れモデル 未知のものに親しませる 人生の意味

●第3章 ルールを無視しよう 69

様式——ゲームのルール
象 ルールに挑む
ルールに従うな
アスラン現

●第4章 現実的に考えようとするな 83

発芽期の苗床 もしこうならば、どうだろう？ 飛び石 おかしなごみ
現実的に考えようとするな

●ブレイク・タイム ● 97

逆の人生 パズル デイスエデュケーション 王様の詩 十二面の楽
しみ 我が社の性格 世代 くさい心をもつ男 知的なポップコーン
高い生産性 色とりどりの概念 広告の四つのアイデア ジャック・グ
ライムズのソフトウェアの笑い話

●第5章 曖昧のままにしておこう 115

曖昧な思考 木の壁 ユーモア 逆説 ヘラクレイトス

●第6章 間違えてもいい 133

ヒットとミス 手堅くいけば もうひとつの論理 飛び石としての間違
い 否定的反応 新しい試み 自然の間違い

●第7章 遊び心は軽薄ではない 145

着想の時機 遊びと学習 遊びと仕事 楽しい環境 メビウスの飛び
石 思考の柔軟性の問題

●第8章 「それは私の専門外だ」というな 159

太陽電池 青いコンデンサー 境界を越える 狩り場

●第9章 馬鹿なことを考えよう 173

順応性の効用 集団思考 道化 道化とルール

●第10章 「創造力」は誰でも持っている 185

トイレット・ペーパー不足 自尊心 二匹のカエル

*

●試験 193

●最後の一撃 203

●著者紹介 208

*

●あとがき 212
〈城山三郎〉

装
幀
*
日
下
弘

頭にガツンと一撃

序
論

頭のこわばりをほぐす



●思考のセックス

私が指導するクリエイティブ・シンク・セミナーでは、まず、参加者につぎの課題を与える。一分ほど答えていただきたい。

●課題●

① あなたが最後に独創的なアイデアを思いついたのはいつですか？

今 朝
昨 日
先 週
先 月
昨 年

② どんなアイデアでしたか？